

H26 年度秋田大学研究者海外派遣事業により
実施した研究・教育活動の成果報告について

平成 27 年 12 月 10 日

所属・職名：附属病院リハビリテーション科・助教

氏 名：齊藤英知

派遣先機関名： Sports Clinic Germany (国名： ドイツ)

派遣期間 : 2014. 7. 1 - 2014. 12. 28

研究課題・目的：最新スポーツ膝関節手術

研究成果 (列記願います)

論文

Saito H, Shimada Y, Yamamura T, Yamada S, Sato T, Nozaka K, Kijima H, Saito K.
Arthroscopic quadriceps tendon repair: two case reports. Case Rep Orthop.
2015;2015:937581. doi: 10.1155/2015/937581. Epub 2015 Feb 28.

学会発表

- ・ Saito H. Clinical trial to estimate joint abduction moment. Joint Preservation and Osteotomy Expert Group Meeting 14-1
- ・ BG Unfolloklinik Tübingen, Germany
- ・ August 30, 2014
- ・ Saito H. Chiba Osteotomy: Review of Japanese literatures. Joint Preservation and Osteotomy Expert Group Meeting 14-2
- ・ AO Center Davos, Switzerland alongside AO courses . December 10, 2014

- ・ Saito H. Short-term result of Hybrid closed wedge osteotomy of the tibia: Takeuchi procedure
- ・ Joint Preservation and Osteotomy Expert Group Meeting 14-2
- ・ AO Center Davos, Switzerland alongside AO courses

- ・ December 10, 2014

□ 教育活動等（列記願います）

A0 Trauma Masters Course - Current Concept Lower Extremity コースにおける Self-directed learning modulus の osteotomy コースにおいて faculty として模擬骨を使用したワークショップで、参加者に手術技術を指導した。

□ 海外派遣事業中の教育・研究活動が、帰国後の研究等の活動にどのように反映されたか概括ください。

主にドイツでの膝周辺骨切り術の教育研修施設で、組織作りから手術指導、研究指導を受け、その方法を日本で実践できたことで、国内外から注目を浴びることにつながっている。研究も歩行動作解析を中心にグループを研究チーム内に立ち上げ、順調に機能する状態になってきた。今後の、ますます秋田は全国、アジアの注目を受けるようになる。日本、アジア、世界でも戦っていけるチームを築いていきたい。